

下水道分野における今後の海外水ビジネス展開について

環境創造局は、Y-PORT 事業の一環として、水道局と連携し、平成 23 年 11 月に「横浜水ビジネス協議会」を設立し、公民連携による海外水ビジネス展開を推進しています。これまで会員企業と合同で海外現地調査や、海外上下水道事業関係者と会員企業とのビジネスマッチングの実施など、様々な活動を行ってきましたが、会員企業から具体的な事業案件の受注に向けた本市の支援に対するニーズが高まっています。

会員企業への一層の支援強化に向けて、環境創造局は横浜ウォーター株式会社と連携し、下水道、及び上下水道一体の海外水ビジネス展開を推進していきます。

1 下水道分野における海外水ビジネス展開の現状

- (1) 新興国等におけるニーズの高まり → 下水道、及び上下水道一体の整備等
- (2) 海外における発注案件 → 計画から建設、運転・維持管理、運営に至るパッケージ型が多数
- (3) 日本における上下水道事業 → 運営・管理に関するノウハウは自治体が保有
⇒ 会員企業の案件受注に向け、会員企業に対して横浜市から一層の支援が必要

2 横浜ウォーター株式会社と連携する内容

- (1) 環境創造局は、海外自治体との関係構築など自治体間協力を通じて、会員企業の案件受注を支援します。
- (2) 横浜ウォーター(株)は、環境創造局から下水道に関するノウハウや人材の提供(有償)を受けて、会員企業と連携して、JICA、国等の事業化調査業務や海外事業体のコンサルティング業務等を受託し、会員企業の案件受注を目指します。

(参考) ビジネス展開の仕組み

